

高齢者等地域ささえ愛互助活動

この活動は、ひとり暮らしや高齢者だけで生活している方などが日常生活で感じている「ちょっと困ったな」「ちょっと手伝ってほしい」を地域の住民同士の力で支え合うことで、高齢者などの在宅生活を支援する「登録制の有償ボランティアサービス」です。

市民のボランティア活動を促進し、住民同士の絆を深め、共に助け合うことで、地域の福祉力を高めるまちづくりを目指しています。

本市では、この活動を白石市社会福祉協議会へ事業委託しています。詳しくは、白石市社会福祉協議会までお問い合わせください。

☎白石市社会福祉協議会 ☎22-5210

活動のしくみ

●活動内容

①家事支援サービス（買い物・掃除・話し相手など）

②移動支援サービス（通院や買い物時の送迎）

●活動時間 平日8:30～17:00

●年間登録料 1,000円

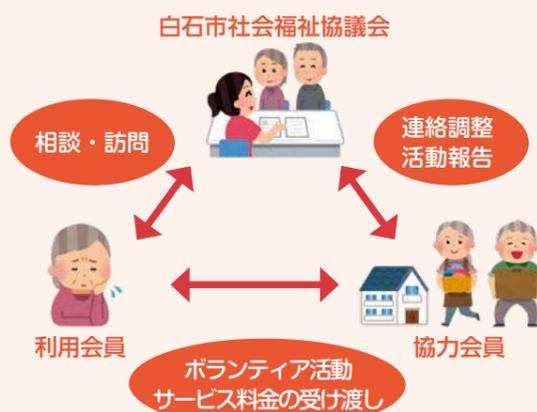
●利用料金

①家事支援サービス 1時間500円

②移動支援サービス 1時間1,000円

（1時間を超える場合は30分ごとに250円加算）

※移動支援サービスは、この料金に加えて走行距離1km当たり20円を加算。



利用できる方

①家事支援サービス

市内に居住する支援が必要な高齢者で、家庭内でその支援が困難な方。

②移動支援サービス

上記の条件に加えて、非課税世帯かつ本人の前年収入が98万円未満の方で、要支援以上の認定を受けた方もしくは身体障害者手帳を所持している方。

協力会員さんを大募集！

地域で困っている方の「支え手」として活動できる方を募集しています。

活動にあたって特別な資格は必要ありません。希望する活動内容を登録し、支え手を必要としている方とのマッチングを行います。

住み慣れた地域でいつまでも暮らし続けられるために、ご協力をお願いします。



▲利用会員の自宅まで送迎する協力会員（移動支援サービス）



▲利用会員と楽しくお話しする協力会員（家事支援サービス）

支え合いながらいつまでも暮らせるまちへ

～白石地区・大平地区編～

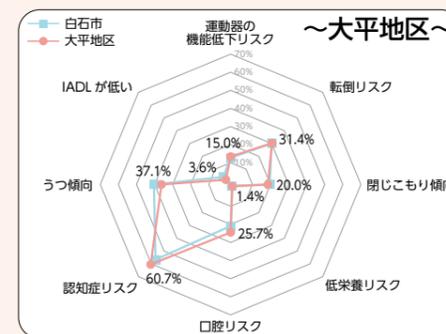
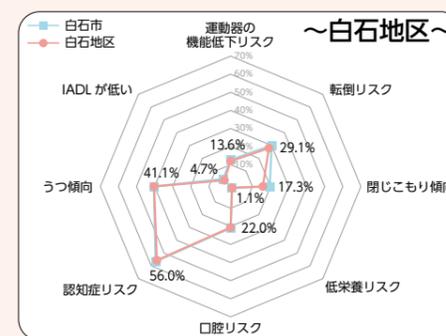
☎長寿課 ☎22-1361

地域包括支援センター ☎22-1466



図1は「第8期介護保険事業計画策定のためのアンケート調査」の結果を基に、要介護リスク8項目を分析したものです。今号では、白石地区と大平地区の要介護リスクの傾向について紹介します。

図1 運動器機能等リスク判定



※ IADL：複雑な動作と判断が求められる動作（例：買い物や洗濯など）

リスク判定では、「転倒リスク」「閉じこもり傾向」は市全体と比べてやや低くなっていますが、その他は大きな差はみられません。

なお、白石地区の高齢者人口は、5,454人（令和2年3月末現在）で市全体の46.4%となっています。高齢化率は、市全体より低い31.3%となっています。



リスク判定では、「口腔リスク」「認知症リスク」は市全体と比べて高くなっています。「うつ傾向」「IADLが低い」は低い割合となっています。

なお、大平地区の高齢者人口は、823人（令和2年3月末現在）で市全体の7.0%となっています。高齢化率は、市全体より低い32.8%となっています。



地域包括支援センターからのお知らせ

「いきいき百歳体操」は、住民の皆さんの支え合いで成り立っています

通いの場では、参加者が研修を受講し、ボランティアとして活躍しています。住民主体の「いきいき百歳体操」ボランティア活動は、社会参加の場です。あなたも体験教室から参加してみませんか？

●開催日 1月20・27日、2月3・10・17・24日、3月3・10・17・24日（いずれも木曜日）

●時間 10:00～11:30（受付9:30～）

●場所 介護予防センター

●持ち物 マスク着用・飲み物・動きやすい服装・上靴

※参加を希望する方は、地域包括支援センターへご連絡ください。



▲いきいき百歳体操の様子